

**中国地方における基幹的な道路
整備について（要望）**

平成15年8月

中国経済連合会

趣 旨

中国地方は、豊かな自然、歴史、文化や産業技術などの地域資源を活かして、四国地方とともに東西南北方向に多様で活発な交流・連携を展開することにより、中国山地と四国山地という二つの山を越えて、日本海、瀬戸内海、太平洋という三つの海に広がり、さらに海外へ連なっていく「中四国経済文化交流圏 ～環三海二山交流圏～」を形成することを目指し鋭意取り組んでいるところであります。（別紙「中国経済連合会の取り組み」参照）

中国地方は、適度に都市が分布する分散型の地域構造となっており、市町村合併や、将来の道州制導入などを見据えた「個性と活力ある」分権社会の形成には、社会資本の整備なканずく交通基盤、交通ネットワークの整備が是非とも必要であります。

また、産業振興や広域観光など地域振興に資する道路ネットワークの早期整備、および中国地方の特性である中山間地域振興のための道路整備も喫緊の課題であります。

本要望は、以上のような観点から、当連合会が経済界を対象とした道路整備に関するアンケート調査結果も踏まえ、当連合会の交通問題委員会（委員長：大下 龍介（株）福屋取締役社長）および当連合会会長・副会長・交通問題委員会委員長・副委員長で構成する交通問題懇談会において審議を行いとりまとめたものであり、格別のご高配を賜りますようお願いいたします。

中国地方における基幹的な道路整備について

分権社会の形成、産業振興を促進するため、特に下記事項について十分にご配慮いただき、道路の計画的かつ早期整備について、格別のご高配を賜りますようお願いいたします。

記

- 1 . 「中四国経済文化交流圏～環三海二山交流圏～」形成のため、国の責任による高規格幹線道路ネットワークの計画的かつ早期整備
- 2 . 地域発展の核となる中枢・中核都市圏内の高速道路網の整備
- 3 . 地域の有機的な連携を図るための都市間および都市と中山間地を連携する道路の整備
- 4 . 地域産業の振興を支援し、地域間の交流や産官学の連携を促進するための高速道路・港湾・空港等へのアクセス道路など、基幹的な交通基盤の相互連携を勘案した一体的整備
- 5 . 交通基盤の円滑な整備のために必要な財源の確保

上記の整備に当たっては、

単に採算性のみならず、産業再生による経済活力の向上、教育・医療・福祉など生活の質の向上、安全で安心できる暮らしの確保、環境保全など、多様な要素を考慮すること

地域の実情を勘案した道路の規格、仕様の見直しによる道路整備の推進

をお願いしたい。

(具体的な要望項目)

1 . 高規格幹線道路網等の整備

(1) 中国横断自動車道

- ・尾道松江線 (尾道 ~ 三刀屋木次) の整備促進
- ・姫路鳥取線 (佐用 ~ 鳥取) の整備促進

(2) 山陰自動車道

- ・宍道 ~ 出雲間の整備促進
- ・北条道路、東伯中山道路、名和淀江道路、仁摩温泉津道路、江津道路、浜田三隅道路、益田道路、萩三隅道路の整備促進
- ・鳥取青谷道路 (仮称)、中山名和道路 (仮称)、出雲仁摩道路 (仮称)、温泉津 ~ 江津間、三隅 ~ 益田間、益田 ~ 萩間、三隅 ~ 美祢間の早期事業着手

(3) 関門海峡道路 (第二関門橋)

2 . 地域高規格道路等の整備

(1) 広島都市圏自動車専用道路網 (指定都市高速道路)

(2) 岡山・倉敷都市圏道路

(岡山倉敷道路、倉敷福山道路等)

(3) 都市圏環状道路 (鳥取、福山、岡山等)

(4) 関門海峡道路 (第二関門橋) と下関市街地との連絡道路等

以上

平成 15 年 8 月

中 国 經 济 連 合 会

会		長	高	須	司	登
副	会	長	八	村	輝	夫
副	会	長	米	原	正	博
副	会	長	丸		磐	根
副	会	長	皆	美	健	夫
副	会	長	稻	葉	侃	爾
副	会	長	岡	崎		彬
副	会	長	池	内	浩	一
副	会	長	宇	田		誠
副	会	長	德	永	幸	雄
副	会	長	渡	辺	一	秀
副	会	長	勝	原	一	明
副	会	長	長	廣	眞	臣
副	会	長	林		孝	介
交通問題委員会委員	長		大	下	龍	介
交通問題委員会副委員	長		澄	田	秀	雄
交通問題委員会副委員	長		末	長	範	彦
交通問題委員会副委員	長		齋	藤	宗	房

中国経済連合会の取り組み

1 日本海国土軸の形成

平成10年3月、「山陰・日本海国土軸グランドデザイン」を策定し、これに基づく取り組みを進めております。

「山陰・日本海歴史文化回廊」構想の策定

(平成11年3月)

「山陰地域の産業高度化と新産業創出」に関する提言

(平成12年10月)

北東アジア研究会における環日本海地域振興への取り組み

(平成14年度)

鳥取倉吉地域の匠の地域・観光ルートづくり

(平成15年度)

2 中四国地域連携軸の形成

中四国地域連携軸(東ルート、西ルート)の形成を促進するため、中四国セントラルルート地域連携軸推進協議会等において、交流連携を促進しております。

3 瀬戸内海地域の総合整備

自然・歴史・文化・産業などの地域資源を活かした瀬戸内海地域の活性化について、関係自治体や経済団体と共同し検討を進めております。

「瀬戸内海歴史文化回廊」構想の策定

(平成9年10月)

「瀬戸内海地域の白砂青松の保全ならびに創生に向けて」の提言(平成12年10月)

国土交通省「瀬戸内海地域の総合整備のあり方調査」への参画(現在実施中)

「瀬戸内海創生構想」の策定

(平成16年度予定)

4 広域都市圏の形成

活力ある広域都市圏の形成を目指し、岡山・倉敷中枢拠点都市圏や三次・庄原都市圏などの一体的発展に取り組んでおります。

中国地域における都市圏整備のグランドデザインに関する調査（平成13年3月）

岡山・倉敷都市圏整備の基本方向についての提言

～ツインシティーズ岡山・倉敷中枢拠点都市圏構想～

（平成14年5月）

三次・庄原都市圏整備の基本方向についての提言

～三次・庄原ガーデンシティ構想～

（平成14年10月）

5 都市再生の取り組み

旧徳山市を中心とする周南市が人口20万人を越え、早晚特例市に移行するが、都市再生モデルとして今後検討してまいります。

6 広域観光の推進

広域観光推進組織を中心に、街づくりや広域観光ルートの形成に取り組む、地域振興を図っております。

シンポジウム・観光展「トキメキちゅうごく旅物語」の開催

（平成13年9月）

夢街道フォーラムの開催

（平成14年1月）

山陽・山陰キャンペーンの開催

（平成14年度～）

「旅行商品開発プロジェクト」の立ち上げ

（平成15年度～）

7 産学官連携への取り組み

「世界有数のイノベーション地域」と「世界のモデルとなる循環型社会」の実現を目指し、平成14年2月、「中国地域発展のための産学官連携マスタープラン」を策定し、その着実な実施に向け取り組みを進めております。

中国地域産学官連携サミットの開催

(第1回平成14年2月、第2回平成14年11月)

中国地域産学官コラボレーションシンポジウムの開催

(第1回平成14年6月、第2回平成14年11月、第3回平成15年8月予定)

キャンパスベンチャーグランプリCHUGOKUの開催

(平成14年7月～)

広域的ネットワークのための情報プラットフォームの整備

(平成14年11月)

産学官連携推進に関する企業自主行動指針(ボランタリープラン)策定

(平成14年11月～)

中国地域産学官コラボレーションセンター開設

(平成15年3月)

8 情報化への取り組み

中国地域の情報化の現状を把握するとともに、産業・社会など地域社会全般の情報化の展望と課題を探り、その対応の検討・実施をしております。

地域特性を踏まえたITSの展開に寄与するために「中国ITS研究会」を設立(平成12年11月)

「中国地域におけるITの推進について」及び「広島市におけるデジタルコンテンツ産業の育成」の提言(平成14年1月)

中国地域IT研究会による「ITが産業に及ぼす影響と課題についての調査報告書」の作成(平成14年2月)

地域の情報化への貢献のための中古パソコンの提供
(平成12年度～)